

連歌奉納

産土の 神の恵みと よき秋に
秋祭り 斎戒すませ 笏取れば
黄金なす 稲田にそよぐ 朝風に
連日の 猛暑アラート 耐えて秋
障りなく 幸輝高齢 踏み入りぬ
豊作の 感謝を捧げる 神幸祭
鉦卸し 貴船の神苑に 鳴り渡り
待ち兼ねた 秋風優しく 頬を撫で
産土の 神のお供に 山車を出し
令和の世 平和を願い 鉦をうつ
矛を持ち 神輿お供し 神幸場
秋空に 響き渡りし 鉦の音に
山車につく 氏子の姿 勇ましく
神事場に 舞いし赤トンボ 鉦の音
神のせて 御輿担ぎて 浮殿に

宮司……………廣瀬正知
禰宜……………廣瀬理子
氏子会会長代行……………坂本茂三
氏子会副会長……………守 一夫
氏子会副会長……………守中康治
氏子会副会長……………中村伸一
氏子会理事……………坂岡正喜
氏子会理事……………村田龍彦
氏子会理事……………田 刈 朗
氏子会監事……………進谷忠俊
氏子会監事……………山口由信
氏子会監事……………佐藤信一
氏子総代……………守中清史
氏子青年会会長……………田畑豊勝
氏子青年会副会長……………宮原広行

健やかな 孫と子供の 法被姿に
天高く 夏より熱い 秋祭
三十路より 手がけた仕事に 支えられ
豊作や 天地の恵み 汗の跡
来し方を 話す米寿の 夫笑顔
鉦の音に 言祝ぐ人の 笑み並び
町内に 秋祭告ぐ 鉦卸し
神想う その時すでに 慈悲の中
在りし日の 夫と紡ぎし 年月を
何ごとも 日々感謝と 思いつつ
秘栗の 如き仔犬と 秋麗
晴れやかに 宇原の森に 鉦響き
パリ五輪 競技競った 夢舞台
はじまりの とき告げる鉦 夜深く
空高く 黄金に実る 稲穂刈る
神集 心一つ ヤマ造り

長畑区山笠保存會会長……………嶋村政敏
馬場区同志會……………平井雅崇
馬場……………守中泰子
南原……………山下勝幸
尾倉一……………上田安乃
神田町三……………中村未央
神田町三……………中村幸彦
南原……………坂本高城
南原……………坂本悦子
尾倉四……………小田原忠英
馬場……………井上沙綾香
神田町一……………木村 修
幸町……………山本博子
尾倉三……………伊舎堂真由美
尾倉……………沖永陽子
富久二……………有吉慎太郎

9月26日に連歌奉納祭が宇原神社で開催されました。お題の下の句に対して、次のとおり上の句が寄せられました。
▼下の句「心足らいて 神に詣づる」



トルの「若山」が披露されました。その後、太鼓や鉦を打ち鳴らしながら、数十人の男衆の掛け声とともに、重さ4トンを超える山車がぶつかり合いました。
会場を訪れた人は「山笠が集合した姿は圧巻でした。心に残る1日になりました」と話していました。

苅田山笠の特徴の1つは、山車がぶつかり合う「突き当て」です。突き当てが行われる最終日、会場（役場駐車場）には、各地区から山笠14基が集合。華やかな装飾が施された高さ約15メー

た。

室町時代から続く伝統的な祭り「苅田山笠」が9月22日から10月6日まで開催されました。祭り期間中は各地区の山笠が町内を練り歩き、町は活気に包まれました。
苅田山笠は、五穀豊穡や無病息災を願う宇原神社の秋の大祭行事で、例年9月中旬から約2週間にわたって開催されています。

勇壮華麗 苅田山笠

福岡県の無形民俗文化財に指定されている「苅田山笠」は、苅田町で毎年9・10月に開催される伝統的な祭りです。今年は、山笠14基が役場駐車場に集合しました。